

男女協働参画に関するアンケートへのご協力をお願い

伊万里市は、平成13年1月に「男女共同参画都市宣言」を行い、平成28年4月に「男女協働参画を推進する条例」を施行し、あらゆる分野において男女協働参画の視点が入り入れられるまちづくりに取り組んでいます。

今後の取り組みに向けた基礎資料とするため、5年に一度アンケートを実施し、皆様の男女協働参画に関する日常生活の実態やご意見をお聞かせいただいております。

今回は、伊万里市内にお住まいの20歳以上の方から無作為に抽出した1,500人の方にご回答をお願いしています。

お答えいただいた内容については、すべて統計的に処理しますので、個人が特定されることはありません。また、他の目的のために使用することはありません。（お名前の記入も不要です）

アンケートの回答には、10分程度の時間を要しますが、男女協働参画推進のため、ご協力いただきますようお願いいたします。

結果の概要につきましては、伊万里市ホームページ等で公表します。



令和3年9月

伊万里市長 深浦 弘信

〔ご記入にあたってのお願い〕

- ① アンケートは、封筒のあて名の方 **ご本人が** 回答してください。
※病気や高齢等でご本人が記入できない場合は、代理の方が聞取りを行い、ご本人の回答としてご記入ください。
- ② 回答は、調査票に直接ご記入ください。
※「その他」を選ぶ際に（ ）がある場合は、具体的な内容をご記入ください。
- ③ 質問によっては、回答していただく方が限られる場合があります。ことわり書きに従ってお進みください。
- ④ ご記入が終わりましたら、**9月30日（木）まで**に、同封の返信用封筒（切手不要）で、ご返送ください。
- ⑤ アンケートについて、ご不明な点やご質問がありましたら、お問い合わせください。

【問合先】 伊万里市 企画政策課 男女協働推進係
担当：春田・大石
電話：23-2115

◇ あなたのことについてお聞きします ◇

Q.1 あなたの性別はどちらですか。

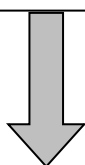
1. 男性 2. 女性 3. その他

Q.2 あなたの年齢は次のどの年代ですか。

1. 20歳代 2. 30歳代 3. 40歳代
4. 50歳代 5. 60歳代 6. 70歳以上

Q.3 あなたは結婚（事実婚含む）していますか。

1. 結婚している 2. 結婚していたが、離別・死別した
3. 結婚したことがない



Q.3-1 **【Q.3で、「1. 結婚している」と回答した方にお聞きします】**
あなたは、夫婦共働きをしていますか。

1. 共働き（パート・アルバイトをしている方も含む）をしている
2. 夫のみが働いている
3. 妻のみが働いている
4. 夫も妻も働いていない

※ここでいう「働いている」は、労働の対価として収入を得ていることを言います

Q.4 あなたの家族構成は次のどの世帯に当てはまりますか。

1. 単身世帯（ひとり暮らし） 2. 一世代世帯（夫婦だけ）
3. 二世帯世帯（親と子） 4. 三世帯世帯（親と子と孫）
5. その他の世帯

◇ 男女平等についてお聞きします ◇

問1 あなたは、男女平等が現在どの程度実現していると思いますか。
 (1)～(7)の各項目で、あてはまるものを1つずつ選び、その番号に○をつけてください。

質問項目	優男性 遇さの れ方が いる	優男性ど 遇さのち れ方らか がといえ ば	平 等	優女性ど 遇さのち れ方らか がといえ ば	優女性 遇さの れ方が いる
(1) 家庭生活	1	2	3	4	5
(2) 職場	1	2	3	4	5
(3) 学校教育の場	1	2	3	4	5
(4) 地域活動・社会活動の場	1	2	3	4	5
(5) 政治の場	1	2	3	4	5
(6) 法律や制度の上	1	2	3	4	5
(7) 社会通念・慣習・しきたり	1	2	3	4	5

◇ 結婚・家庭についてお聞きします ◇

問2 あなたは、一般的に「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」と思いますか。

1. そう思う
 2. どちらかといえばそう思う

3. どちらかといえばそう思わない
 4. そう思わない

問2-1 【問2で、「1.そう思う 2.どちらかといえばそう思う」と回答した方にお聞きします】 そう思う理由は何ですか。(○は1つ)

1. 日本の伝統的な家族の在り方だと思うから
2. 自分の両親も役割分担をしていたから
3. 男性が外で働いた方が、多くの収入を得られると思うから
4. 女性が家庭を守る方が、子どもの成長などにとって良いと思うから
5. 家事・育児・介護と両立しながら女性が働くのは大変だと思うから
6. その他（具体的に)

3 ページ
 問2-2へ

問2-2 【問2で、「3. どちらかといえばそう思わない 4. そう思わない」と回答した方にお聞きします】 そう思わない理由は何ですか。
 (○は1つ)

1. 男女平等に反すると思うから
2. 自分の両親も外で働いていたから
3. 男性も女性も働いた方が、多くの収入を得られると思うから
4. 女性も働いて能力を発揮したほうが、個人や社会にとって良いと思うから
5. 家事・育児・介護と両立しながら、女性も働き続けることは可能と思うから
6. 性別による役割分担意識を押し付けるべきではないから
7. その他 (具体的に _____)

問3 あなたの平日における1日の家事・育児・介護時間について、おおよその時間数をそれぞれ記入してください。

1. 家事時間 (炊事、掃除、洗濯、買い物等)	() 時間 () 分
2. 育児時間 (子どものために費やす時間)	() 時間 () 分
3. 介護・看護時間	() 時間 () 分

◇ 職業についてお聞きします ◇

問4 あなたは、今どのような形で働いていますか。

※出産休暇や育児休業中の方も働いているものとしてお答えください。

1. 事業主 (自分で経営)
2. 正規社員
3. 短時間勤務正規社員
4. 非正規社員 (派遣・契約・嘱託・パート・アルバイトなど)
5. 家事 (お店や農林漁業など) の手伝い
6. 専業主婦 (夫)
7. 以前は職業を持っていたが、現在は職業を持っていない
8. これまで職業を持ったことはない
9. その他

***短時間勤務正規社員とは**

正規社員と比べて所定労働時間 (日数) が短い正社員のことであり、雇用形態の特徴は以下のとおりです。

- ①期間の定めのない雇用契約
- ②正社員を基準とした賃金、福利厚生
- ③正社員と同じ教育、研修

問5 あなたは、女性が仕事を続けていく上で、障害になっていることは何だと思えますか。(○は3つまで)

1. 昇進、昇格に男女格差がある
2. 結婚や妊娠・出産すると、仕事が続けにくい雰囲気が職場にある
3. 家事・育児・介護への家族の協力が得られない
4. 家事・育児・介護のための社会システムや施設等が不十分である
5. その他(具体的に)
6. 特に障害はない

問6 あなたは、男性が育児休業を取得することについて、どう思えますか。(○は1つ)

1. 男性も取得すべき
2. 女性は取得した方がよいが、男性が取得することには違和感がある
3. 業務への影響などを考えると、取得すべきではない
4. 2、3日ならいいが、長期取得はすべきではない
5. その他(具体的に)

問7 男性の育児休業や介護休業の取得が進まない現状がありますが、あなたはどのような理由からだと思いますか。(○は3つまで)

1. 取得者の仕事の代わりにしてくれる人がいない
2. 同僚の理解が得られない
3. 上司の理解が得られない
4. 収入が減る
5. 人事評価や昇進に影響がある
6. 育児・介護に自信がない
7. 職場で男性が育児休業・介護休業を取得した前例が少ないから
8. その他(具体的に)

◇ ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)についてお聞きします ◇

問8 あなたの生活の中で、「仕事」「家庭生活」「地域・個人の生活」のうち(1)理想の優先度と(2)現実の優先度はどれですか。あてはまるものを1つずつ選び、その番号に○をつけてください。

質問項目	「仕事」を優先	「家庭生活」を優先	優先 「地域・個人の生活」を	「仕事」と「家庭生活」を同じくらい優先	先 の生活」を同じくらい優	い優先 個人の生活」を同じくら	「家庭生活」と「地域・個人の生活」を同じくらい優先	「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」を同じくらい優先
(1)理想の優先度	1	2	3	4	5	6	7	
(2)現実の優先度	1	2	3	4	5	6	7	

*ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)とは

「国民一人ひとりがやりがいや充実感を感じながら働き、仕事上の責任を果たすとともに、家庭や地域生活などにおいても、子育て期、中高年期といった人生の各段階に応じて多様な生き方が選択・実現できる社会」とされています。

問9 あなたは、ワーク・ライフ・バランスを実現していくため、どのようなことが必要だと思いますか。(○は3つまで)

1. 長時間労働をなくすこと
2. 給与等の男女間格差をなくすこと
3. 育児休業・介護休業制度を利用できる職場環境をつくること
4. 育児休業・介護休業中の賃金その他が充実すること
5. 育児休業・介護休業の取得が、給与や職業の地位に不利益とならないようにすること
6. 地域や職場内の保育施設の充実や保育時間の延長など、保育サービスが向上すること
7. 育児や介護のために退職した人を再雇用する制度を導入すること
8. 在宅勤務やフレックスタイム制度(時間差出勤)など、柔軟な勤務体制を導入すること
9. 女性が働くことに対し、家族や周囲の理解と協力があること
10. 家事や育児を男女が協力して行い、どちらかに負担がかかりすぎないようにすること
11. その他(具体的に)

◇ 子育てと教育についてお聞きします ◇

問 1 0 次のうちあなたのご意見に近いものはどれですか。(1)～(3)の各項目で、あてはまるものを1つずつ選び、その番号に○をつけてください。

質問項目	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
(1) 女の子も男の子も同じように、経済的に自立できるような教育が必要だ	1	2	3	4
(2) 女の子も男の子も同じように、炊事・洗濯・掃除など、生活に必要な技術を身に付けたほうがよい	1	2	3	4
(3) 男女にはそれぞれの役割があるので、女の子は女の子らしく、男の子は男の子らしく育てる	1	2	3	4

◇ 男女協働参画の視点からの防災についてお聞きします ◇

問 1 1 阪神・淡路大震災や東日本大震災を経て、防災（災害復興含む）には男女のニーズの違いに配慮した取り組みが必要だと考えられるようになってきました。
このような視点から、今後の防災活動を推進していくために、特にどのようなことが必要だと思いますか。（○は3つまで）

- | | |
|--|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 防災等に関する市や地区の防災会議委員に男女をバランス良く配置 2. 防災に関する研修会や講座等への男女の積極的な参加 3. 防災に関する女性リーダーや女性消防団員の育成 4. 女性が積極的に参加する自主防災組織の結成の促進 5. 災害時ボランティア登録など、支援に関して多様な人材の確保 6. 女性や乳幼児等に配慮した避難所機能の確保 7. その他（具体的に |) |
|--|---|

◇ 政策決定の場への女性の参画についてお聞きします ◇

問 1 2 あなたは、現在の伊万里市の政策に女性の意見が反映されていると思いますか。(○は1つ)

1. 反映されている
2. ある程度反映されている
3. あまり反映されていない
4. まったく反映されていない

問 1 3 伊万里市の審議会等委員の女性比率は現在 34.4% (目標値は令和4年度までに40%)です。このことをあなたはどのように思いますか。(○は1つ)

1. 現状のままでよい
2. 女性をもう少し増やした方がよい
3. 男女半々がよい
4. 女性が多い方がよい

*** 審議会の委員とは**

市の政策方針を決める際に意見を聴く機関のことです。伊万里市は、男女協働参画審議会、ごみ対策協議会など、約50の審議会等を設置しており、延べ約900の方が委員として選任されています。



問 1 4 あなたは、政治や行政、企業などのさまざまな分野において、女性の管理職等への任用、企画や方針決定の場への女性の参画が少ない理由は何だと思えますか。(あてはまるもの全てに○)

1. 女性自身の積極性が不十分
2. 家庭・職場・地域における、性別役割分担や女性差別的な意識や慣行
3. 家族の支援・協力が得られない
4. 女性の能力開発の機会が、男性に比べ不十分
5. 男性中心の組織運営
6. 女性の能力に対する偏見
7. 団体などの“長”(あて職)でないと委員になれないことが多い
8. 女性の参画を積極的に進めよう意識している人が少ない
9. その他(具体的に)

* 令和2年度女性の政策・方針決定参画調べ(内閣府)によると、「指導的地位に女性が占める割合」は、国会議員(衆議院)9.9%、民間企業における管理職(課長相当職)が10.1%、自治会長6.1%となっています。

◇ DV (ドメスティック・バイオレンス) についてお聞きします ◇

問 1 5 あなたは、今までに次のような ①暴力を受けたこと ②暴力を振るったことがありますか。(1)～(9)の各項目で、あてはまるものをそれぞれ1つずつ選び、その番号に○をつけてください。

*DV (ドメスティック・バイオレンス) とは
夫婦やパートナー間など、親しい間柄で起こる暴力のことで、殴る・蹴るなどの身体的な暴力だけでなく、暴言や無視・過度な束縛(外出させない・仕事をさせない)などの精神的暴力も含まれます。

質問項目		① 暴力を受けたことが...		② 暴力を振るったことが...	
		ある	ない	ある	ない
身体的暴力	(1) 殴る、蹴る	1	2	1	2
	(2) 物を投げる、物を壊す	1	2	1	2
性的暴力	(3) 嫌がるのに性的行為を強要する	1	2	1	2
	(4) 避妊に協力しない	1	2	1	2
精神的暴力	(5) 何を言っても無視する	1	2	1	2
	(6) 交友関係やメール・携帯電話をチェックする	1	2	1	2
	(7) 「誰のおかげで生活できるんだ」や「甲斐性なし」などと言う	1	2	1	2
	(8) 大声で怒鳴る	1	2	1	2
経済的暴力	(9) 生活費を渡さない、職業に就くことを許さない	1	2	1	2

問 1 6 あなたは、これまでに異性から性暴力等を受けたことがありますか。(1)～(7)の各項目で、あてはまるものを1つずつ選び、その番号に○をつけてください。

質問項目	ある	ない
(1) 知っている人(配偶者や恋人など親密な間柄の者を除く)から無理やり性的行為をされた	1	2
(2) 知らない人から無理やり性的行為をされた	1	2
(3) 痴漢行為を受けた	1	2
(4) 職場でセクシャル・ハラスメントを受けた	1	2
(5) 学校・地域等でセクシャル・ハラスメントを受けた	1	2
(6) 子どもの頃、性的被害を受けた	1	2
(7) その他 ()	1	2

問18 伊万里市で『女性相談』を行っていますが、あなたは、このことを知っていますか。

1. 知っている 2. 知らない

***「伊万里市女性相談」とは**

夫や交際相手からの暴力、夫婦関係や家庭内の心配ごとや子育てに関する事など、女性が抱える悩みについて、相談員が電話・面接相談を行っています。

(☎0955-22-6763)



問19 男女間での暴力による被害をなくすために、あなたは、どうしたらよいと思いますか。(あてはまるもの全てに○)

1. 被害者が早期に相談できるよう、身近な相談窓口を増やす
2. 加害者への罰則、警察による介入・指導を強化する
3. 学校で生徒に対し、暴力を防止するための教育を行う
4. 家庭で保護者が子どもに対し、暴力を防止するための教育を行う
5. 暴力を振るったことのある者に対し、繰り返さないための教育を行う
6. 広報・啓発活動を積極的に行う
7. 暴力を防止するための研修会・イベントなどを行う
8. 過激な内容のDVDやゲームソフトの貸出し・販売を制限する
9. その他(具体的に _____)

◇ 性的少数者(LGBT)についてお聞きします ◇

問20 あなたは、性的少数者(LGBT)についての社会的な意識が高まっていると思いますか。

1. 高まっていると思う 2. ある程度高まっていると思う
3. 高まっているとは思わない 4. 分からない

***LGBTとは**

- ・Lesbian(レズビアン)…女性を好きになる女性
 - ・Gay(ゲイ)…男性を好きになる男性
 - ・Bisexual(バイセクシャル)…男女どちらも好きになることができる人
 - ・Transgender(トランスジェンダー)…身体の性と心の性が異なる人
- これらの頭文字をとった性的少数者の総称の1つです。
※この他にも、アセクシュアル(恋愛感情や性的指向がない人)やクエスチョニング(性自認や性的指向が定まっていない人)などの方もいます。

問 2 1 あなたは、自治体で施行されているパートナーシップ制度を知っていますか。

1. 内容まで知っている
2. 内容は知らないが聞いたことがある
3. 全く知らない

***パートナーシップ制度とは**

同性のカップルについて、結婚に相当するパートナー関係であることを公的に証明する制度。(法律婚とは異なり法的効力はない)

◇ **市として取り組むべき方策についてお聞きします** ◇

問 2 2 女性も男性も互いに認め合いながら、その個性と能力を発揮し、喜びも責任も分かち合うことができる「男女協働参画社会」の実現のために、伊万里市は、今後、どのようなことに取り組んでいく必要があると思いますか。(○は3つまで)

1. 市の各種審議会など、政策決定の場に女性委員を多く選任する
2. 各種団体や地域で活躍する女性リーダーの育成
3. 学校教育における男女の平等と相互理解・協力についての教育の充実
4. 生涯学習における男女協働参画に向けた学習や講座の充実
5. 企業・経営者や団体・機関等トップを対象とした男女平等やワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)に関する意識啓発の充実
6. 男女協働参画推進のための市民が集える活動拠点を作る
7. 女性向けの職業能力の開発や、職業訓練機会の充実
8. 保育施設や保育サービス、高齢者や障害者のための施設や介護サービスの充実
9. 女性に対する暴力を根絶するための施策の推進
10. 女性のための相談窓口の設置及び相談機能の充実
11. 広報紙やパンフレットなどでの、男女の平等と相互の理解や協力についてのPR
12. その他(具体的に)

◇ 条例と宣言都市についてお聞きします ◇

問23 あなたは、伊万里市が「男女共同参画宣言都市」であることを知っていますか。

1. 知っている 2. 知らない

伊万里市・男女共同参画都市宣言



伊万里市男女協働参画シンボルマーク

わたしたちは 人間としての自立と平和の理念のもとに
性別を超え 世代を超え 多様な生き方を認め合い
男(ひと)と女(ひと)が力を合わせ 新しい“いまり”の歴史を創り
あなたらしく わたしらしく
すべての人がきらめくまちを目指して
ここに「男女共同参画宣言都市」となることを宣言します

- わたしたちは ひとりひとりが自立し 認め合い いきいきと暮らせるまちをつくります
- わたしたちは 自らの意思で 社会のあらゆる分野に 平等に参画できるまちをつくります
- わたしたちは 家庭や地域で責任を持って協働し 分かち合い 支え合うまちをつくります
- わたしたちは 国際的協調のもと男女共生の明日を築き人を愛し平和を愛するまちをつくります

平成 13 年 1 月 13 日

伊 万 里 市

* 「協働」と「共同」の違い *

国では「男女共同参画宣言都市」のように「共同」を使用していますが、伊万里市では、男女がそれぞれの役割と責任を自覚し、その資質や能力を生かし、相互に補完し合い、対等の立場で協力する社会を目指したいとの思いを込めて、「協働」を使っています。



問24 あなたは、伊万里市が、平成28年4月1日に施行した『伊万里市男女協働参画を推進する条例』を知っていますか。

1. 知っている

2. 知らない

伊万里市男女協働参画を推進する条例

誰もが自分らしくいきいきと暮らせる社会を実現し、未来の子ども達に引き継ぐため、平成28年4月1日に『伊万里市男女協働参画を推進する条例』を施行しました。

男女協働参画社会の実現に向けては、市民と行政の協働はもとより、事業者や団体等も加わり、各自が主体的に取り組みを進めていく必要があります。防災、雇用、地域活動、教育などあらゆる場面において、男女協働参画の視点を取り入れることが重要です。条例では、市、議会、市民、事業者、地域活動団体、教育に携わる者の各自の責務を明確にしています。

*ご意見・ご要望がございましたら、どのようなことでも構いませんので、ご記入ください。

お忙しい中、
ご協力いただき
ありがとうございました

アンケートは、同封の返信用封筒
(切手不要)でご返送ください

